

H小委員会：無線業務保護のための妨害波許容値の決定モデル、共通エミッション規格を策定

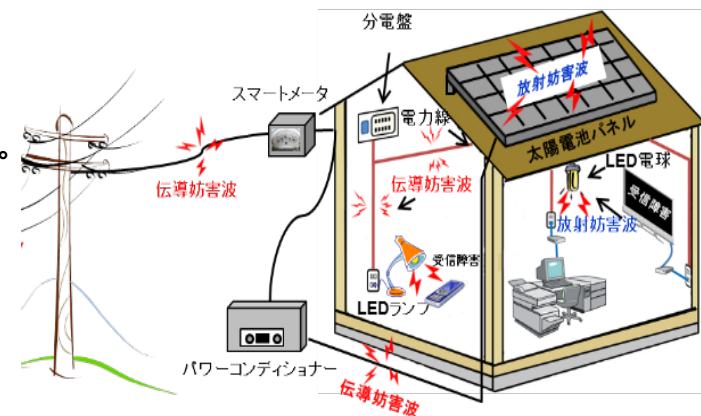
## 妨害波許容値設定モデル CISRP/TR16-4-4の改定

### 1) 背景と課題

- 無線保護のための妨害波許容値の設定においては、被干渉無線信号の受信と、妨害波の発生との場所・時刻・周波数が常に一致するとは限らない（妨害波発生＝受信障害発生とは限らない）ことを考慮する必要がある。電磁干渉には多くの要因が影響し、そのほとんどはランダムな事象であることが問題となる。

### 2) 課題の解決方法

- CISRP/TR16-4-4は、受信障害の発生モデルと、それに寄与する確率的な要因（確率要素）を定め、許容値設定の考え方を記載している。この考え方に基づき、妨害波許容値の設定方法の検証が試みられている。
- CISPR 11に導入された太陽光発電(PV)装置用のGCPCの伝導妨害波許容値に対して、PV装置からの妨害波放射特性と確率要素を考慮したモデルがH小委員会AHG2において検討されてきた。



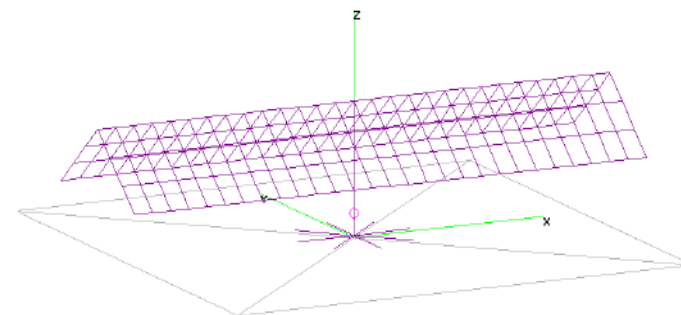
電磁妨害波による受信障害の発生モデルの検討

### 3) 釜山会議までの中間会合の結果

- PV装置を4種類に類型化し、それぞれにおける妨害波電流による放射妨害波電磁界強度（結合係数）を計算・実測により評価する一方、電磁干渉発生に大きく影響する確率要素を検討して許容値の試算を行い、CISPR 11の許容値との比較を行った。

### 4) 今後の見込み

- 我が国からは、特に低周波における近傍界におけるモデルの適用性、および一部の確率要素の算出法に関する本質的なコメントを提出し、採用されている。今後も、より妥当性の高い許容値設定モデルの構築に向けて積極的に寄与を行う。



太陽光発電装置からの妨害波放射特性の数値計算に用いられたモデルの例

# 各小委員会の対処方針（H小委員会）

## H小委員会：無線業務保護のための妨害波に関する規格を策定

### 1 共通工ミッション規格IEC61000-6-3（住宅・商業・軽工業環境）及びIEC 61000-6-4（工業環境）の改定

#### 1) 審議状況

IEC61000-6-3のCDV否決（IEC61000-6-4は可決、発行済）に伴い、各NCから指摘された論点を整理し、複数のCD（Fragment）を発行し審議中である。また商業・軽工業環境において条件限定でクラスA許容値を適用する新規格IEC61000-6-8のNPが可決し、作業が開始される。

さらに、30MHz以下の放射妨害波許容値、公共DC電源供給網に接続されるポートの許容値、9kHz～150kHzにおける伝導妨害波許容値などが、今後の共通工ミッション規格への反映を目的として新たに議題となっている。

#### 2) 対処方針

各CD文書に対する我が国の意見は概ね反映されている。今後も確実に反映されるように留意する。またIEC 61000-6-8のNPに対しては賛成しており、我が国の住宅・商業・軽工業環境が混在する状況において適切に無線が保護できる条件が反映されるように対処する。

新たな審議項目については、それぞれの提案の根拠、作業計画等について明確化を求める。

### 2 CISPR/TR 16-4-4（無線保護のための許容値設定モデルの技術報告書）の改定

#### 1) 審議状況

太陽光発電(PV)設備からの妨害波放射モデルとPV用GCPCの伝導妨害波許容値設定モデルに関して、CISPR/TR 16-4-4のCDを発行。各国コメントを反映して改定版を準備している。また照明用超低電圧(ELV)屋内配線からの放射モデルが検討対象に追加される見込み。

#### 2) 対処方針

低周波領域における近傍界の放射モデルの適用性と、一部確率要素の計算方法の修正についてのコメントが確実に反映されるように対処する。さらに上記に関連してCISPR/TR16-4-4本文における確率要素計算法の修正も提案する。ELV配線からの放射モデルについては、現実を反映したモデルの検討を求める。